

第三次斜里町立図書館資料収集計画 (案)

(令和6年度～令和10年度)

(2024年度～2028年度)

斜里町立図書館



図書館キャラクター

斜里 ほん太

はじめに

斜里町立図書館は、町民の教育と文化の発展に寄与するため、多様な資料を提供・保存することを目的として平成26年4月に「斜里町資料収集方針」を策定しました。この方針を基本とし、平成26年4月に第一次、平成31年3月には第二次となる計画をそれぞれ策定してきました。

現在、図書館には総数12万冊の資料があります。これは、時代の変遷や利用する方々の要望等により収集してきた知識と感性の集積の結果ともいえます。

今後とも社会の動向や地域のニーズの変化に対応し、公平で自由な視野をもった選書に努め、町民の知的財産として後世に継承するために将来を見据えて計画的な整備を行うため、第三次斜里町立図書館資料収集計画を策定します。

〔目次〕

I. 趣旨	・・・・・・・・1
II. 計画期間	・・・・・・・・1
III. 現状と課題	・・・・・・・・1
1. 現状	
(1) 第二次斜里町立図書館資料収集計画の進行状況	
(2) 利用者層と貸出状況	
2. 課題	
(1) 幅広い興味・情報要求への対応	
(2) 子どもの読書活動支援の充実	
(3) 地域資料の把握と充実	
IV. 収集目標	・・・・・・・・3
1. あらゆる世代への自主的な読書意欲や学習を支援する蔵書の構築	
2. 子どもの読書活動を支援する蔵書の充実	
3. 地域を支える蔵書の充実	
V. 蔵書構成	・・・・・・・・4
1. 基本的な考え方	
2. 分類別蔵書構成比の考え方	
3. 令和6年度～10年度 分類別蔵書数の推移表	

I. 趣旨

公共図書館では、町民の求めている情報や生活を豊かにする資料、学習や研究のために役立つ資料など、常に蔵書のバランスを考慮しながら収集・提供・保存することが求められます。

本計画は収集に関する考え方に関し「斜里町立図書館資料収集方針」を踏襲しながら、現在約 12 万冊となった蔵書について、収集と除籍を行いながら随時更新し、魅力的な蔵書を維持することを目標におきます。

II. 計画期間

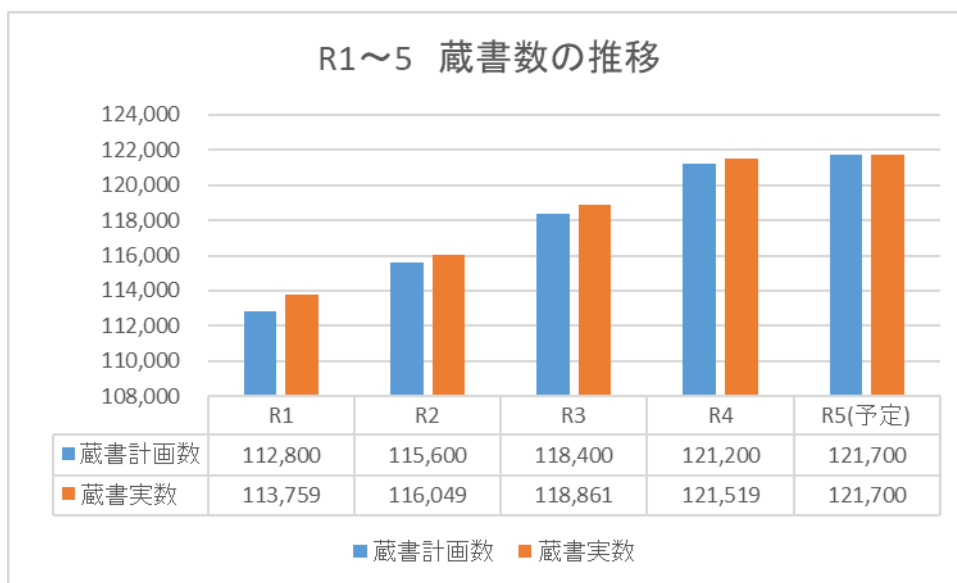
計画期間は、令和 6 年度(2024 年度)から令和 10 年度(2028 年度)までの 5 年間とします。

III. 現状と課題

1. 現状

(1) 第二次斜里町立図書館資料収集計画(令和元年度～令和 5 年度)の進行状況

当初の計画では、令和 5 年度末での蔵書数を 121,700 冊とし、一般財源及び図書資料整備基金等を活用しながら収集を進めてきました。このことにより、令和 5 年度に目標蔵書数へ到達することができました。

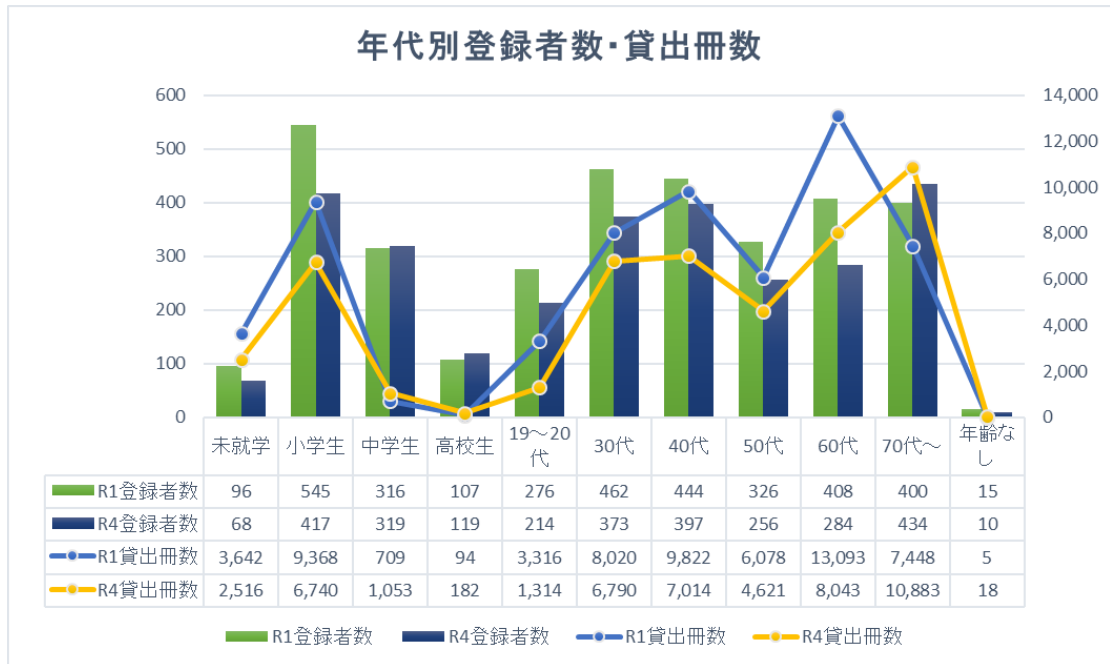


(2) 利用者層と貸出状況

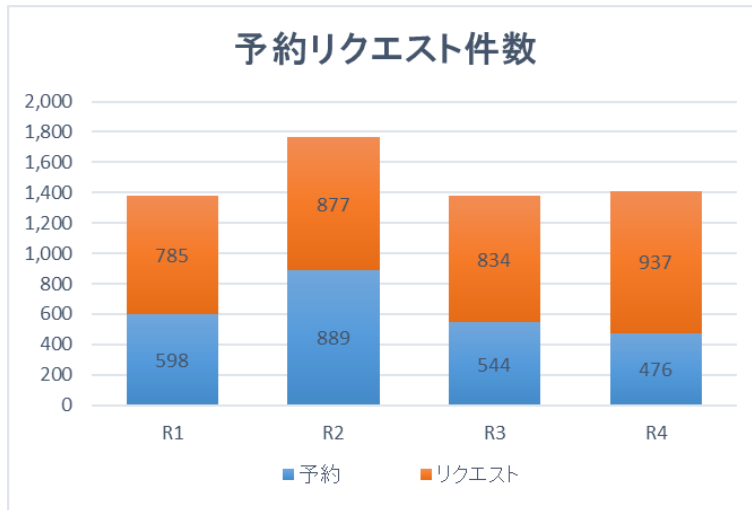
①利用者登録データについては最終貸出時より 5 年間利用がない場合は削除しており、直近の状況を把握するようにしています(再登録可能)。

小中学生は学校図書館利用のため全校児童生徒を登録するなど図書館を利用しやすい環境づくりを進めていますが、人口減等を要因に全体的には 70 代以外は減少しています。

②貸出率についても人口減のほかコロナ感染症対策として休館措置を行った影響もあり、全体的に減少傾向にあるものの、中高生及び70代で増加しています。



③予約リクエストは年間1,400件程度あり、利用者の希望に応じたサービスを進めました。また、リクエスト件数の高さからニーズ多様化の状況がうかがえます。



2. 課題

変わり続ける世の中のスピードに合わせて資料を更新し、魅力的な蔵書を保ち続けることが図書館の利用価値向上につながります。

利用者の「知りたい」に応えていく図書館であるため、すべての分類に目を配りながら適切な更新を継続することが必要です。そのうえで留意すべき点については以下の点が考えられます。

(1) 幅広い興味・情報要求への対応

社会情勢の変動に伴い、個々が持つ興味や課題は多様化しています。図書館は解決の糸口をみつけられる地域の情報拠点として、広く活用されるよう努めていかなければいけません。

幼児から学生、社会人、高齢者、ハンディキャップを持つ方など、町民をはじめ多くの方が図書館を活用できるよう、ニーズを把握しながらレファレンス等の課題解決支援サービスを広く周知し、幅広い興味に対応できる蔵書を構成することが必要です。

(2) 子どもの読書意欲に応える資料の充実

幼児から高校生まで幅広い世代に対し来館を促し、読書に親しむ習慣づくりに努めています。しかし、小学生をピークに学年が上がるにつれ、図書館資料を手にする割合は減少する傾向にあります。継続的な読書習慣を身につけるためには、幼いころから読書の楽しさを感じてもらうための働きかけが重要です。

幼児から青年期まで、年代に合わせた資料を整備し、興味を促進させる魅力的な蔵書を整える必要があります。

(3) 地域資料の把握と充実

地域資料においては、市販されている資料のほか、町や施設、団体等で発行している資料など、形態は様々です。地域を知り、記憶や記録に留めるための貴重な資料を冊子媒体に問わず積極的に収集を行い、保存していかなければいけません。

また、年度ごとに作成される地域資料の継続保存に努める必要があります。

IV. 収集目標

『新斜里町立図書館建設基本計画』において、蔵書規模の目標を開架・準開架・閉架すべてを含めて12万冊としています。目標蔵書数に到達している現状ですが、地域資料は原則永年保存のため蔵書数が増えていくことが考えられます。

今後は収蔵スペースを考慮しながら、図書資料が変化する社会情勢に対応できるよう「情報の鮮度」を保持するよう収集を進める必要があります。また、各分野においてバランスの良い配備となることを目指します。

これを基本として、今後5年間における資料収集目標を以下のとおり定めます。

1. あらゆる世代・地域への自主的な読書意欲や学習を支援する蔵書の構築

- ・地域の情報及び学びの活動拠点として、子どもから大人まであらゆる世代にとって必要とする情報を得ることができる資料を整備します。また、本との出会いを通じて新たな興味・関心を刺激するような資料の提供に努めます。
- ・蔵書バランスについては、入門書から専門書まで、必要とする難易度に応じた選定

を行い、利用者の意欲を充たす適切な資料の提供に努めます。

- ・町内在住の外国人をはじめ、観光客やテレワーカーなど多くの方々が図書館を活用できるよう、目的やニーズを踏まえた資料の提供に努めます。

2. 子どもの読書活動を支援する蔵書の充実

- ・子どもは読書を通じて優しさや想像力、コミュニケーション能力などを身につけると言われています。乳幼児期から青少年期において読書の習慣と楽しみを体得し、学力だけでなく、生きる力そのものを育てることが重要です。
- ・乳幼児から幼児、小学生、中学生、高校生と成長していく過程で個人の興味は大きく変動していきます。継続的な読書習慣を身につけるために年代別に合った資料を提供し、絵本～児童書～中高生向き図書～一般書へと導くことができるような資料選定に努めます。
- ・中学生・高校生の利用が増えつつある現状において、興味や関心を把握し、資料の充実に努めます。また、社会に出て必要となる多様性の理解を深め「物事にはいろいろな見方がある」という多面的な物事の考え方を学ぶ機会を創出することを目標に、資料及び情報の提供を進めます。

3. 地域を支える蔵書の充実

- ・斜里町が行政機関として刊行している計画書・報告書・統計書等をはじめ、斜里町の歴史や文化を知ることができる資料について、行政や学校、社会教育施設、各種団体と連携し可能な限り収集・提供できるよう整備を進めます。
- ・斜里町にゆかりのある人物の伝記や著作についても併せて収集に努めます。また、斜里町に関する記載が資料の本文中にない等、地域資料として分類しない資料の中でも「世界自然遺産」「サケ・マス」「ヒグマ」等、斜里町に関連するテーマの資料は地域を知るための資料として収集に努めます。

V. 蔵書構成

1. 基本的な考え方

- (1) 知識や心の栄養として心豊かに過ごせる機会を提供できるよう、常に魅力的で関心を引き出す蔵書とするため、適切な資料の更新および除籍を行ないます。
- (2) 将来においても利用が見込まれる資料、他に類書が見当たらない貴重な資料の保存に努めます。
- (3) 利用者との対話や資料案内、レファレンス、予約・リクエストなどのサービスを通じて、要望を把握し、資料収集への反映を図ります。

2. 分類別構成比の考え方

令和5年度までの蔵書数をもとに、分類別構成比の考え方を踏まえて今後5年間の蔵書数の推移について下記のとおり進めます。

【0 総記】

百科事典や新聞縮刷版など調査・研究に必要となる参考資料が多く、発行状況によって速やかな更新を行います。

【1 哲学】

哲学や自己啓発、宗教関係など、必要な資料を選別しながら収集を行います。

【2 歴史】

地理、旅行関係本は幅広い世代に人気が高く、情報の入れ替わりも激しいためこまめな更新を行います。

【3 社会】

法律、制度関係等は都度改正されており、変化のスピードに対応することが必要不可欠です。最新の情報を提供するため随時速やかな資料の更新を行います。

【4 自然】

地域資料に含まれない世界自然遺産関係等、斜里に関連する自然科学の資料の収集のほか、ニーズの高い医学関係本のこまめな更新を行います。

【5 技術】

趣味実用関係の資料が多く、貸出回転率も高いことから損耗が早い分類です。情報が古くなった資料や痛んだ資料を更新しながら時代に沿った新鮮な資料の状態を保持します。

【6 産業】

農業、漁業、観光業等の基幹産業を中心に、適切な資料の更新を行います。

【7 芸術】

ジャンルが幅広く、特にニーズが多岐に渡る分類であるため、様々な資料をバランスよく更新していきます。

【8 言語】

辞書事典類の所蔵状況を確認しながら、適切な更新と収集を図ります。

【9 文学】

現状の蔵書数を維持しつつ、適切な更新を図ります。

【K 児童書】

未就学児～小学生の貸出冊数は多く、今後も利用頻度は高いと考えられます。学校や家庭における読書支援のため、児童にとって魅力的な蔵書となるよう適切な更新を行います。

また、読み物だけでなく、学校や個人での調べものにも対応できるよう、様々なジャンルの資料の更新を図ります。

【E 絵本】

配本等での利用が多いため破損等による更新頻度が高く、かつ利用も多い分類です。ロングセラーなど長く読み継がれる資料は買い替えなども行いながら、バランスのとれた蔵書構成となるよう更新を行います。

【C 紙芝居】

幼児向けから児童向けまで年代に合う資料を収集しながら、人気の高い高齢者向け紙芝居の収集も同時に進めていきます。

【視聴覚資料】

利用状況を把握しながらバランスの良い収集に努めます。VHS、カセットテープの貸出需要もある状況であり、利用状況等を確認しながら、可能であれば随時DVDやCDへの更新を行います。

【北海道資料】

北海道に関する専門的な資料をこの区分とし、一般的な資料や北海道に特化しない資料は各分類への配備としながら収集を進めます。

【S 地域資料】

地域の財産として斜里・知床に関する資料は保存するため、複本で収集します。また、寄贈依頼の呼び掛けを進めながら、地図、映像資料、各種パンフレット等、活字資料以外の資料収集も行います。

他分野は更新を進めていきますが、地域資料については汚破損や紛失の場合以外は基本的に除籍を行わないことから、蔵書は年々増加していくと考えられます。

【Z 雑誌】

分野に偏りがなく、さまざまな種類の雑誌を更新していきます。定期刊行物であることからある一定程度の期間継続して収集を行う必要はありますが、定期的に購入雑誌の見直しを行い、利用者のニーズを図りながら整備します。

3. 令和6年度(2024年度)～10年度(2029年度) 分類別蔵書数の推移表

現状の構成率を基本に整備し、除籍と購入を踏まえた更新を年間 3,500 冊進めていきます。一般資料は更新を行いますが保存資料は基本的に永年保存とするため、備品（一般資料＋地域資料）の蔵書数は年間増加していくこととなります。

分類		R5年度 予定(冊)	構成率	6年度 (冊)	7年度 (冊)	8年度 (冊)	9年度 (冊)	10年度 (冊)	構成率
一般資料	0. 総記	2,340	2.15%	2,320	2,320	2,320	2,320	2,320	2.14%
	1. 哲学	2,410	2.22%	2,380	2,380	2,380	2,380	2,380	2.20%
	2. 歴史	5,820	5.36%	5,750	5,750	5,750	5,750	5,750	5.30%
	3. 社会	6,490	5.97%	6,400	6,400	6,400	6,400	6,400	5.90%
	4. 自然	5,020	4.62%	5,200	5,200	5,200	5,200	5,200	4.80%
	5. 技術	7,750	7.13%	7,710	7,710	7,710	7,710	7,710	7.11%
	6. 産業	3,250	2.99%	3,270	3,270	3,270	3,270	3,270	3.02%
	7. 芸術	7,630	7.02%	7,600	7,600	7,600	7,600	7,600	7.01%
	8. 言語	1,300	1.20%	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	1.20%
	9. 文学	24,390	22.44%	24,300	24,300	24,300	24,300	24,300	22.42%
	K. 児童書	22,150	20.38%	22,100	22,100	22,100	22,100	22,100	20.39%
	E. 絵本	16,190	14.90%	16,100	16,100	16,100	16,100	16,100	14.85%
	C. 紙芝居	1,210	1.11%	1,220	1,220	1,220	1,220	1,220	1.13%
	視聴覚資料	2,730	2.51%	2,750	2,750	2,750	2,750	2,750	2.54%
一般資料計		108,680	100.00%	108,400	108,400	108,400	108,400	108,400	100.00%
保存資料	北海道資料	2,990		3,080	3,160	3,240	3,320	3,400	
	地域資料	5,530		5,750	5,950	6,150	6,350	6,550	
備品計		117,200		117,230	117,510	117,790	118,070	118,350	
年間除籍数		3,500		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	
年間購入数		3,500		3,500	3,500	3,500	3,500	3,500	

消耗品	雑誌	4,480		4,400	4,400	4,400	4,400	4,400	
総合計		121,680		121,630	121,910	122,190	122,470	122,750	